

令和5年度 評価事業一覧

No.	事 務 事 業 名	担当課名	班名	令和5年度 評価	令和4年度 評価
1	合併20周年記念事業(「町の木・花・鳥・魚」絵画制作)	生涯学習課	歴史文化財班	A (R5新規)	—
2	放課後児童健全育成充実事業	教育推進課	幼児総務班	A	A
3	子どもの不審者等対策事業	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
4	入学祝金事業	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
5	就学援助事業	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
6	奨学資金事業	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
7	学力向上対策事業	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
8	友好都市との学校間交流推進事業	教育推進課	教育総務・指導班	B	A
9	官学連携事業	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
10	子どもの感性・創造力育成事業	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
11	ふるさと教育・キャリア教育推進事業	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
12	国際教育推進事業	教育推進課	教育総務・指導班	B	A
13	ICT活用教育推進事業	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
14	奨学金返還助成事業	教育推進課	教育総務・指導班	A	A
15	タイ王国との中学生交流事業	教育推進課	教育総務・指導班	A	B
16	家庭教育事業	生涯学習課	社会教育班	A	A
17	青少年教育事業	生涯学習課	社会教育班	A	A
18	成人教育事業	生涯学習課	社会教育班	B	A
19	高齢者教育事業	生涯学習課	社会教育班	A	A
20	芸術文化推進事業	生涯学習課	歴史文化財班	A	A
21	芸術文化交流促進事業	生涯学習課	社会教育班	— (評価無し)	— (評価無し)
22	芸術文化団体支援事業	生涯学習課	社会教育班	B	B
23	学習成果発表事業	生涯学習課	社会教育班	B	B
24	美郷カレッジ開催事業	生涯学習課	社会教育班	A	A
25	伝統行事等伝承事業	生涯学習課	歴史文化財班	B	B
26	後三年合戦関連事業	生涯学習課	歴史文化財班	B	B
27	わら細工文化事業	生涯学習課	歴史文化財班	A	A
28	ブックスタート事業	生涯学習課	歴史文化財班	A	A
29	美郷オリジナル絵本作成事業	生涯学習課	歴史文化財班	A	A
30	読書・視聴覚環境向上事業	生涯学習課	歴史文化財班	A	A
31	文化財保護事業	生涯学習課	歴史文化財班	B	B
32	埋蔵文化財調査事業	生涯学習課	歴史文化財班	B	B
33	民俗文化財継承活動推進事業	生涯学習課	歴史文化財班	A	A
34	少年スポーツ振興事業	生涯学習課	スポーツ振興班	A	A
35	スポーツ活動支援事業	生涯学習課	スポーツ振興班	B	B
36	連携企業スポーツ活動推進事業	生涯学習課	スポーツ振興班	A	A
37	国際文化スポーツ交流促進事業	生涯学習課	スポーツ振興班	— (評価無し)	— (評価無し)

事業評価シート

事務事業名	合併20周年記念事業 (「町の木・花・鳥・魚」絵画制作)		担当課名	生涯学習課	
			課長名	中田 裕克	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		記入者	班	歴史文化財班
				職・氏名	主事 木元 ほのか
				電話番号(内線)	0187-84-4040 (3407)
事業の目的	令和6年11月1日に美郷町合併20周年を迎える。20年間の歩みを振り返るとともに、郷土愛の醸成と美郷らしさの誇りを次世代へ繋いでいく。				
事業の内容	町のシンボル「町の木・花・鳥・魚」絵画制作				
事業の対象	町内外の観覧を希望する方				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	—	—	3,095	2,124	950 (うち繰越分878)
評価年度目標 (目指すべき姿)	住民が芸術文化に触れる機会を創出し、豊かな心を養う。				
実績・成果等 (数値)	美郷町合併20周年記念事業として、美郷町のシンボルである「木・花・魚」をイメージした絵画を制作した。 ・町の木「赤松」山田美知男氏（日本画家） ・町の花「ラベンダー」永田萌氏（絵本作家・イラストレーター） ・町の魚「ハリザッコ」渋谷重弘氏（洋画家）				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	A		優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	美郷町合併20周年記念事業として、令和5年度に4名の方に作品の制作を依頼し3作品が完成した。優れた芸術に触れることで、感性を高める機会を得ることができた。(1作品は令和6年度に繰越)				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	放課後児童健全育成充実事業	担当課名		教育推進課	
		課長名		佐々木 寿人	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成	記入者	班		幼児総務班
			職・氏名		主事 加川 唯人
			電話番号(内線)		0187-84-4914(2408)
事業の目的	放課後や長期休業時、就労等の理由により保護者が不在となる家庭の小学校1年生から6年生までの児童に対し、安心して過ごせる生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。				
事業の内容	保護者が帰宅するまでの間、児童の保護及び遊びを主とした健全育成活動を行うとともに、その環境を整える。				
事業の対象	放課後や長期休業時に、就労等の理由により保護者が不在となる家庭の小学校児童				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	13,427	11,582	20,387	17,243	22,540
評価年度目標 (目指すべき姿)	放課後や長期休業時に、就労等の理由により保護者が不在となる家庭の小学校1年生から6年生までの児童に安心して過ごせる生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・就労等の理由で保護者が放課後時間帯に監護できない児童に対し、安心して過ごせる場所を提供することができた。 ・希望する全ての児童を引き受けることができた。 令和5年度登録数 338人(令和4年度登録数 347人) 令和5年度利用率 月平均89% ・支援員又は支援補助員が県主催の研修を受講し、資質向上を図った。 (支援員年齢層・・・20代2名、30代2名、40代3名、50代9名、60代16名、70代2名) 放課後支援者研修会(参加者数 7人) 放課後児童支援員等資質向上研修(参加者数 7人) 放課後児童支援員認定資格研修(参加者数 2人) 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input type="checkbox"/> 十分できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている				
	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	A		優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	利用希望者全員の受け入れができ、児童の居場所の確保及び健全な育成活動を提供できた。また、職員の資質向上に努め、適切な知識や技能を習得した職員体制で育成支援を行った。今後も、現水準を維持しながら健全育成支援を充実し、事業を推進していきたい。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する		<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する		<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	子どもの不審者等対策事業		担当課名	教育推進課	
			課長名	佐々木 寿人	
総合計画の 施策名	暮らしの安全安心の確保		記入者	班	教育総務・指導班
				職・氏名	上席主査 高橋 穰
				電話番号(内線)	0187-84-4914(2406)
事業の目的	子どもたちを不審者から守り、安全な学校生活を送ることができるよう不審者対策事業を行う。また、安全・安心メールを利用した迅速で正確な情報提供を行う。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の登下校時の見守り活動 ・安全・安心メールによる不審者、危険動物、気象、熱中症、感染症等の情報提供 				
事業の対象	児童生徒、町民の方				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	157	48	48	48	48
評価年度目標 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心メール連絡システムを運用し、迅速で正確な情報を保護者及び関係者に伝え、児童生徒の安全を守る。 ・地域の方との連携により子どもたちを不審者等から守る。 				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードリーダーやPTA等による登下校時の見守り活動を実施した。 ・安全・安心メール連絡システムは、全認定こども園、小学校、中学校の保護者が登録し、不審者情報のほか、危険動物、気象、熱中症及び感染症の注意喚起などについて、迅速かつ正確な情報を提供した。 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない
判定説明 及び考察	<p>A 優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードリーダー等による登下校の見守り活動を実施したことにより、子どもたちを不審者等から守るとともに、路上での交通安全活動にも貢献できた。今後もスクールガードリーダーの配置を継続し、見守り活動を充実させていきたい。 ・安全・安心メールにより、保護者等に対し不審者情報のほか熊目撃情報の注意喚起、天候等による学校行事の延期や中止など様々な場面で、より迅速で正確な情報を伝えることができた。近年多発している熊の目撃情報をはじめ、必要な情報を今後も継続し保護者及び関係者に伝達できるよう取り組んでいきたい。 				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	入学祝金事業		担当課名	教育推進課	
			課長名	佐々木 寿人	
総合計画の 施策名	希望が叶う結婚・出産・子育ての支援		記入者	班	教育総務・指導班
				職・氏名	班長 高階泰充
				電話番号(内線)	0187-84-4914(2410)
事業の目的	小学校または中学校に入学する際に、入学祝金を支給することにより、入学時における保護者の経済的負担の軽減、子育てへの支援及び児童生徒の健全な育成を図る。				
事業の内容	小学校または中学校への新入生の保護者を対象に入学祝い金を支給する。 ・小学校1年生 1人につき30,000円 ・中学校1年生 1人につき30,000円				
事業の対象	美郷町に住所を有している小・中学校への新入生の保護者。				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	7,320	6,660	7,057	6,660	7,350
評価年度目標 (目指すべき姿)	翌年度に小学校または中学校への新入生の保護者に対し入学祝金を支給する。				
実績・成果等 (数値)	・町広報紙やホームページ等で周知を図ったほか、把握している各小中学校の入学予定者の保護者に対し、個別に通知を送付し申請を呼びかけ、申請が遅れている家庭にはこちらから確認の連絡を入れ、申請忘れがないよう取り組んだ。 ・入学祝金支給人数 (中学生:110人、小学生:113人)				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	A		優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	各学校、園と連携しながら、対象となる新入生の保護者に対し、入学祝金について周知し、令和6年度に入学する新入生全員の保護者に入学祝金を支給することができた。 保護者の負担軽減及び子育て支援に結び付いているものと考えられるため、今後もこの事業を継続していきたい。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	就学援助事業		担当課名	教育推進課	
			課長名	佐々木 寿人	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成		記入者	班	教育総務・指導班
				職・氏名	主事 土田俊弥
				電話番号(内線)	0187-84-4914(2414)
事業の目的	経済的な理由で就学困難な児童生徒の保護者に対し、教育に必要な経費を援助することで保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な実施に資する。				
事業の内容	生活に困窮していると認められた児童生徒の保護者に対し、学用品費や通学用品費、学校給食費、医療費等の給付金を支給する。				
事業の対象	生活保護法(昭和25年法律第144号)第6条第2項に規定する要保護者とそれに準ずる程度に困窮していると認められた者				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	11,587	8,136	10,999	7,495	11,761
評価年度目標 (目指すべき姿)	制度の周知を広く行い、就学に必要な経費を補助し、教育機会均等の保持を図る。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学生の全保護者への個別通知及び町広報・町づくりガイド、町ホームページに掲載し、広く制度の周知を行った。また、関係課や各学校と連携を図った。 ・社会情勢の変化に伴う経済的影響を受けている家庭の負担軽減の一助となった。 ・令和5年度就学援助児童生徒数 小学生46人 中学生30人 計76人 (令和4年度 小学生51人 中学生37人 計88人) 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
判定説明 及び考察	<p style="text-align: center;">A</p> <p>優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている</p> <p>関係課・各学校と連携しながら制度の周知を行い、就学援助認定者の経済的負担を軽減している。社会情勢や経済・雇用情勢の変化等に応じ、適宜適切に制度の見直しを図ること、教育機会の均等に向けて事業を推進していきたい。</p>				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	奨学資金事業	担当課名		教育推進課
		課長名		佐々木 寿人
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成	記入者	班	教育総務・指導班
			職・氏名	上席主査 高橋 穰
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2406)

事業の目的	奨学資金は、教育機会均等を保証するため、経済的理由により高等学校、高等専門学校、専修学校(専門課程)、短期大学、大学の修学困難な者に対し、学資を貸与し、有用な人物の育成を目的とする。				
事業の内容	上級学校に在籍し、経済的理由で修学困難な者に対して資金を貸与する。 ・高等学校 月額15,000円 ・高等専門学校、専修学校(専門課程)、短期大学、大学 月額40,000円以内(1万円単位)				
事業の対象	奨学生を志望する者で、次の条件を具備する者。 (1)身体強健、品行方正で学業優良な者 (2)美郷町住民の子弟 (3)学資金に困難な者				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	14,481	4,879	8,421	5,355	8,358

評価年度目標 (目指すべき姿)	①貸与: 予算の範囲内で、経済的理由等により修学困難な者に学資を貸与し、有用な人物の育成を目標とする。 ②償還: 歳入確保に向けて、返還者一人一人の経済状況に応じた返還計画に基く償還、また未納者に対しては催告の回数を増やす等対策を行い、収納率の向上に努めることを目標とする。				
実績・成果等 (数値)	①貸与 ・町広報紙(3月号)と町ホームページで奨学生募集について周知した。応募者は大学卒3人、専修学校卒1人で、選考の結果全てに貸与が決定した。 歳出(貸与): 令和5年度奨学生貸与者数12人(内新規貸与者数4人) ②償還 ・返還者との納付相談、また未納者への通知、電話、訪問等の対策により収納率の向上に努めた。 歳入(償還): 収入未済額 2,697,200円、滞納者数 11人 うち令和5年度未納額 204,000円、未納者数 2人 令和5年度収納率 98.49% (前年度比 1.42%増)				

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	

内部評価	A	優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	貸与については、予算の範囲内で応募者全てに対応できている。償還については、社会情勢の悪化による経済的影響を受けた方との納付相談、また未納者への電話や通知等による催告等の対策を行い、98.49%の収納率となった。今後も経済的な理由により大学等の修学に困難な美郷町出身学生に対し、学資を貸与し、有用な人物の育成を支援するとともに、収納率向上にもしっかりと取り組んでいきたい。			
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			

外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり
------	---	--------	----------

事業評価シート

事務事業名	学力向上対策事業		担当課名	教育推進課	
			課長名	佐々木 寿人	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成		記入者	班	教育総務・指導班
				職・氏名	教育推進監 青谷千里
				電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)
事業の目的	児童生徒の課題に対応した取組や新聞活用教育を推進し、学力や読解力、判断力等の向上を図る。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着度調査、計画的な学習を実施するための検査の実施 学習状況調査の分析・活用と校内研修改善、授業力向上支援事業の実施 新聞活用教育の推進 				
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> 学力検査(国語・算数):全小学校1、2、3年生 知的発達検査:全小学校2、5年生 中学校1年生 校内研修改善・授業力向上研修会 新聞活用教育:全小学校4、5、6年生 中学校全学年 				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	2,033	1,871	2,040	1,877	1,845
評価年度目標 (目指すべき姿)	学習状況調査と学力検査・知的発達検査の実施により状況を把握し、課題の改善に向けた研修を行う。また、新聞を読むことで、身の周りの様々な事象に対して、興味関心をもち視野の広い児童生徒の育成を目指す。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 美郷町校内研修改善・授業力向上推進事業として、秋田大学教授を指導者に迎え、各小中学校で算数・数学の授業研究会を各校1回実施 美郷町学力向上授業改善研修会の実施。令和4年度から、中学校の教員も参加。 個々の教員の授業改善をねらいとする、全教員一人1回以上の町内他校の授業参観実施 令和5年度県学習状況調査(小4～中2)における県平均以上の教科:21教科中19教科(小学校4年～6年:11教科中11教科、中学校1・2年:10教科中8教科) 学力検査(小1～小3)における全国平均以上の教科:6教科中6教科 小中学校ともに5月より対象児童生徒に子ども新聞・中高生新聞を週1回配付 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
判定説明 及び考察	<p style="text-align: center;">A 優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている</p> <p>児童生徒の学習到達度及び課題を分析し、各学校と連携して学力向上に取り組んだ。その成果が県学習状況調査や学力検査の結果にも表れている。また、毎週1回の新聞配付や閲覧コーナーの設置に加え、各校では新聞記事を活用した様々な取組が行われており、新聞が児童生徒にとって身近なものになってきている。今後も児童生徒一人一人の学力や読解力、判断力等を最大限に伸ばしていくために、事業を充実させていきたい。</p>				
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	友好都市との学校間交流推進事業		担当課名	教育推進課	
			課長名	佐々木 寿人	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成		記入者	班	教育総務・指導班
				職・氏名	教育推進監 青谷千里
				電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・農村部と都市部の交流を通じ、児童の豊かな人間性を育む。 ・授業への参加や地域の方々とのふれあいを通して、それぞれの学校や地域のよさ、違い、課題などをつかむ。 				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・千畑小学校と港区立御田小学校の交流(昭和52年～) ・仙南小学校と文京区立千駄木小学校の交流(平成27年～) ・六郷小学校と大田区立高畑小学校の交流(平成28年～) 				
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・千畑小学校4～6年生、御田小学校4～6年生 ・仙南小学校5年生、千駄木小学校5年生児童 ・六郷小学校5～6年生、高畑小学校全校児童 				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	900	600	900	600	900
評価年度目標 (目指すべき姿)	美郷町や自校の紹介を通してふるさとのよさに気付き、学校や地域に対する考え方やまわりの人たちとの接し方を見つめ直すきっかけとする。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、学校の実情に応じて次のように交流を行った。 ・仙南小学校から千駄木小学校へ16人、千駄木小学校から仙南小学校へ16人が訪問。 ・千畑小学校から御田小学校へ12人、御田小学校から千畑小学校へ24人が訪問。 ・六郷小学校と高畑小学校の訪問交流を検討したが、日程調整がまとまらず中止。 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	B		優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	各小学校の実情に応じて、相互訪問交流を行っており、新聞や動画、オンライン等、教科の学習と結び付けた交流活動を実施した。活動を通して、児童は美郷町と交流地域との共通点や相違点に気付いたり、それぞれのよさを見つめ直したりすることができた。また、各校では交流先の学校から届いた新聞等を校内に掲示したり、交流の様子を学校報で紹介したりするなど積極的に情報発信している。六郷小では、2年継続して交流が行われておらず、実施に向けた取り組みを委員会でもサポートしながら訪問での交流、学習を通じた交流両面での充実を図っていきたい。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	B		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	官学連携事業		担当課名	教育推進課	
			課長名	佐々木 寿人	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成		記入者	班	教育総務・指導班
				職・氏名	教育推進監 青谷千里
				電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)
事業の目的	秋田大学、国際教養大学と町内の園・学校が相互交流を行うことにより、児童生徒に上級学校へのあこがれをもたせ、異文化体験による国際理解を図る。				
事業の内容	秋田大学生によるコンサートの実施、国際教養大学の留学生を園・学校行事に招いたり、大学を訪問したりして交流する。				
事業の対象	町内園児、小・中学校児童生徒				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	180	75	180	75	181
評価年度目標 (目指すべき姿)	美郷町内各園、小・中学校が秋田大学、国際教養大学留学生との交流を通して、国際感覚を磨き、視野を広げる。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田大学・・・美郷フェスタ2023「秋田大学音楽教育研究室学生によるコンサート」の開催。(出演者15名、来場者数252名) ・国際教養大学・・・訪問交流や派遣交流を通して、美郷町内107名の児童生徒が国際教養大学留学生との交流を行った。 *「留学生との交流を通して、他の国の文化や生活を知り、関心を深めることができたか」 ・とてもそう思う87.7% ・そう思う12.3% 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	A		優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	秋田大学生によるコンサートは、水に関する曲を織り込んだ内容で、水環境を大切にする町としてのPRと郷土愛の醸成に寄与する事業である。国際教養大学の留学生との交流は、園児・小学生・中学生の希望に応じた交流活動の実施が可能であり、異文化への興味関心や理解、コミュニケーションへの意欲を高めることが期待できる。両事業とも大学側との連絡調整を密にし、現状を踏まえた工夫改善を図り、事業を実施していくことが課題であることから、今後も担当者間の連携を密にし、事業を実施していきたい。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	子どもの感性・創造力育成事業	担当課名		教育推進課	
		課長名		佐々木 寿人	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成	記入者	班	教育総務・指導班	
			職・氏名	教育推進監 青谷千里	
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)	
事業の目的	各分野において第一線で活躍している方々の一流の芸術を鑑賞したり、様々な体験を行ったりする活動を通して、子どもの感性、創造力の育成を図る。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一流の音楽や芸術に触れる鑑賞会の開催 ・自由研究コンテストの実施 ・小学校4年生の宿泊体験活動の実施(宿泊施設:ワクアス) ・小学校6年生の交流会(美郷キッズわくわく交流会)の実施 ・学校交流音楽祭の開催 				
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞「ドリーム体験!ほんもの講座」:小中学校全児童生徒 ・自由研究コンテスト:小学校全児童生徒、中学校総合科学部およびインターアクト部 ・宿泊体験活動:3小学校4年生 ・美郷キッズわくわく交流会:3小学校6年生 ・美郷フェスタ学校交流音楽祭:小・中学校の金管バンド部・吹奏楽部、六郷高校吹奏楽部 				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	4,122	3,677	2,765	2,399	3,548
評価年度目標 (目指すべき姿)	第一線で活躍している本物のパフォーマンスに触れたり、興味や関心をもったものに熱中して取り組んだり、研究を深めたりすることにより、子どもたちの感性を育み、視野を広げる。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・ほんもの講座:小学校1～3学年「わらび座観劇」大変よかった91.4%、よかった8.6% 小学校4～6年・中学校1～3年「わらび座観劇」大変よかった91.5%、よかった8.5% ・自由研究コンテスト:出品数203点(最優秀賞・優秀賞24点) 入場者数209人 ・宿泊体験活動:初めて家族と離れて宿泊63%、宿泊が楽しかった82.4%(複数回答) ・美郷キッズ交流会:他の学校の人と進んでふれあえた96%、協力して活動できた100% ・学校交流音楽祭:参加児童生徒数97名、来場者数350名 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない
	A		優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	令和5年度はすべての事業を中止することなく実施することができた。実施後のアンケート結果では、児童生徒の満足度も高く、事業の目的を達成することができたと捉えている。本事業は、どの活動も子どもの感性や創造力の育成を目指した内容であり、今後も実施方法や内容等を工夫しながら重点化を図りたい。				
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する		<input type="checkbox"/> 継続実施する		<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見		内部評価のとおり

事業評価シート

事務事業名	ふるさと教育・キャリア教育推進事業		担当課名	教育推進課	
			課長名	佐々木 寿人	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成		記入者	班	教育総務・指導班
			職・氏名	教育推進監 青谷千里	
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)	
事業の目的	将来の美郷を町の内外から担っていこうとするたくましい児童生徒の育成を目指して、美郷町の特色ある自然、歴史、文化、産業、観光、スポーツ、行政、教育などを記載した教材としての本を編集・出版し、活用を図る。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校5、6年生を対象に、キャリアスクール(職場体験活動)を実施 ・小中学校において地域の人材や産業を学ぶ美郷ふるさと活動を実施 ・美郷町ふるさと学習教材「ふるさと美郷は宝箱」の活用促進 				
事業の対象	小学校5・6年生及び中学生				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	3,028	643	485	3,561	496
評価年度目標 (目指すべき姿)	町の教育資源を本にまとめて教材化を図り、これを活用しながら学習を展開することで、子どもたちの認識や視野を広げる。また、それを基盤として自らの進路や生き方を考える「ふるさと教育・キャリア教育」を推進する。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校5、6年生を対象に、キャリアスクール(職場体験活動)を実施した。 ・町内42企業・事業所の協力:7/25仙南小(81名)・7/26千畑小(74名)・7/27六郷小(80名) ・「進んで活動に取り組めた」98.7%・「働くことの大切さを理解した」100% ・小中学校において美郷ふるさと活動を実施した。 ・美郷町ふるさと学習教材「ふるさと美郷は宝箱」の活用促進を図り、活用事例集を作成した。 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	A		優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	4年ぶりにキャリアスクールを学校単位で実施し、美郷町内の企業・事業所での職場体験活動を通して進んで活動することや働くことの大切さを学び、美郷町への理解と愛着を深めた。ふるさと学習教材「ふるさと美郷は宝箱」が完成し、各校でふるさと美郷町を題材にした学習活動が展開され、活用促進が図られた。小中学校における美郷ふるさと活動も定着しており、今後も地域と関りを持った学習活動の充実を図っていきたい。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	国際教育推進事業		担当課名	教育推進課	
			課長名	佐々木 寿人	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成		記入者	班	教育総務・指導班
				職・氏名	教育推進監 青谷千里
				電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)
事業の目的	新学習指導要領に対応した児童生徒への外国語教育の充実と国際交流の進展を図る。				
事業の内容	ALT(外国語指導助手)3人を小中学校に、英語専科教員1人を小学校に配置				
事業の対象	町内小・中学校児童生徒				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	17,160	16,682	17,159	17,159	17,159
評価年度目標 (目指すべき姿)	小中学校にALT、小学校に外国語専科教員を配置し、外国語教育の推進と充実を図る。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校へ3名のALTを配置 ・小学校3・4年生の外国語活動及び5・6年生の外国語、中学校の英語の授業でTT(ティームティーチング)を実施 ・英語専科教員や担任とのTTを実施 ・令和5年県学習状況調査より「外国語活動・外国語の勉強は好きだ」(県平均との比較) 小4:92.3%(+11.3) 小5:82.5%(+5.8) 小6:73.3%(-1.2) 中1:86.7%(+15.0) 中2:53.6%(-12.8) 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている			
判定説明 及び考察	ALTの配置により、各学校の外国語教育のねらいと指導計画に対応した授業を行うことができた。小学校では英語専科教員との連携も深まり、県学習状況調査では、「外国語が好き」と答えた児童生徒が県平均を上回る傾向が見られるようになり、楽しく分かりやすい授業づくりの成果が表れてきていると捉えている。しかし、小中学校ともに学年があがるにつれて外国語活動及び外国語への興味関心が下がる傾向があり、教員とALTとの効果的なティームティーチングの充実を図りながら外国語教育の充実につなげていきたい。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	B	評価委員意見	内部評価のとおり		

事業評価シート

事務事業名	ICT活用教育推進事業		担当課名	教育推進課	
			課長名	佐々木 寿人	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成		記入者	班	教育総務・指導班
			職・氏名	教育推進監 青谷千里	
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想によるタブレット端末を活用して、学習活動の一層の充実を図る。 ・ICT支援員を配置し、学校におけるICT機器が教育活動においてスムーズに効果的に活用されるようサポートする。 ・学習者用デジタル教科書実証事業を活用して児童生徒の学びの充実を図る。 				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末や電子黒板等を活用した効果的な教育実践を研究し、活用事例集を作成する。 ・ICT支援員による児童生徒や教師のICT機器活用状況の把握と支援を行う。 ・学習用デジタル教科書を活用し、学習内容の定着を図ったり、興味関心を高めたりすることの実現を図る。 				
事業の対象	児童生徒				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	4,038	6,601	32,654	32,166	37,292
評価年度目標 (目指すべき姿)	児童生徒がタブレット端末や電子黒板を用い、デジタル教科書等のデジタルコンテンツを学びに取り入れることで、より一層の学習内容の定着を図る。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業支援ソフトの活用と検証及びICT全体研修(美郷町教育を考える会) ・令和5年度美郷町小・中学校ICT活用事例集(授業支援ソフト)を作成した。 ・学校におけるICT機器の利活用が図られるよう、ICT支援員を1名配置した。 ・学習者用デジタル教科書を配備した。 <p>* 令和5年度県学習状況調査質問紙から</p> <p>「ICT機器を週1回以上活用している」 小4:94.2%(+5.6) 小5:97.6%(+8.9) 小6:99.0%(+6.3) 中1:22.1%(-62.8) 中2:100%(+9.9)</p> <p>「ICT機器を週1回、意見交換や調べ学習に活用している。」 小4:59.2%(-15.0) 小5:94.4%(+20.0) 小6:97.0%(+14.6) 中1:13.3%(-55.5) 中2:78.6%(+0.6)</p>				
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input type="checkbox"/> 十分できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	A		優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている		
判定説明及び考察	小学校では、全学級に電子黒板が整備され、各校において授業支援ソフトを活用しながらICT機器等の効果的な利活用が図られている。また、ICT支援員が町内小・中学校を巡回することにより、ICT機器の利活用が促進された。今後、中学校にも電子黒板が整備される予定となっており、今後より一層の利活用促進に向けて、電子黒板等の機器整備の充実や教職員のICT研修への支援を図り、より質の高い「秋田の探究型授業」の継承・発展し、学びの充実を図りたい。				
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する		<input type="checkbox"/> 継続実施する		<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	奨学金返還助成事業	担当課名		教育推進課	
		課長名		佐々木 寿人	
総合計画の 施策名	豊かに暮らす定住・移住の実現	記入者	班	教育総務・指導班	
			職・氏名	上席主査 高橋 穰	
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2406)	
事業の目的	美郷町に住所を有し居住する就労者のうち、高等学校、高等専門学校、専門学校、短期大学または大学の在学中に貸し付けを受けた高校・大学生等奨学金を返還する者に対し、返還金の一部を助成することにより、人材の確保と定住促進を図る。				
事業の内容	助成対象者となる認定を受けた者に対して、助成対象期間中に返還した金額に3分の1を乗じて得た額を助成(上限額64,000円、最長5年間助成)				
事業の対象	美郷町に住所を有し居住する就労者のうち、高等学校、高等専門学校、専門学校、短期大学または大学の在学中に貸し付けを受けた高校・大学生等奨学金を返還する者				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	256	164	533	379	837
評価年度目標 (目指すべき姿)	町内全域への事業周知による助成対象者への申請促進と、認定を受けた者に対し返還金を助成することにより、人材の確保と定住促進を図る。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・町広報紙やホームページ等で周知を図ったほか、周知用チラシを作成し中学校卒業生等に配布した。 ・令和5年度支給者数 7名 ・令和5年度助成対象認定者数 8名 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	A	優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている			
判定説明 及び考察	<ul style="list-style-type: none"> ・事業開始から2年目となり継続して町内在住者に対する事業周知を図っており、申請者も増加している。 ・認定となった対象者に対し、滞りなく助成金を支給することができた。 ・今後も事業の周知及び助成を継続していくことで、人材の確保と定住促進を図りたい。 				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり		

事業評価シート

事務事業名	タイ王国との中学生交流事業	担当課名		教育推進課		
		課長名		佐々木 寿人		
総合計画の 施策名	つながりが生まれる交流の創出	記入者	班	教育総務・指導班		
			職・氏名	教育推進監 青谷千里		
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)		
事業の目的	タイ王国の言語・風習・文化等にふれながら異文化理解を深め、同年代の中学生と交流することにより、コミュニケーション力や国際感覚を身に付ける。					
事業の内容	美郷町と教育交流協定を締結しているタイ王国ノンタブリー県の中学生と、ホームステイ等を体験し、生きた英語にふれながら、生活様式、習慣等を学ぶ。併せて、タイ王国の自然、文化、歴史、産業等を学ぶ。					
事業の対象	中学校1～3年生					
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	
	4,129	864	6,695	5,010	7,415	
評価年度目標 (目指すべき姿)	異文化にふれ、視野を広げるとともに、他国の中学生と積極的に英語でのコミュニケーションを図ろうとする積極性や態度を育成する。					
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイ王国訪問に生徒12人参加。(期間:8月16日～8月20日) ノンタブリー県アニューチャプラシッドスクールで授業やタイ芸術・文化活動に参加。ホストファミリー宅へ2泊。 ・タイ王国アニューチャプラシッドスクールから11人来町。(期間:12月18日～12月22日) 美郷中学校で歓迎集会・授業体験等を実施。町内でわら細工・餅つき・茶道等文化体験。町外で雪遊び体験(田沢湖スポーツセンター)・田沢湖観光。 タイを訪問した生徒及び家族との交流及び生徒同士の交流会。 <p>*「訪問交流は有意義だったか」 大変有意義100%</p> <p>*「交流を通して海外の人とのコミュニケーションに対する自信が高まったか」 とても高まった84%・どちらかといえば高まった8%</p>					
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)					
<input type="checkbox"/> 十分できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)						
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている			
判定説明 及び考察	4年ぶりに相互訪問交流が再開され、訪問した生徒はもちろん、歓迎集会や授業等を通して全生徒の異文化理解が深まる事業であった。今後もよりよい相互交流訪問を目指して継続実施することで、国際感覚やコミュニケーション力、英語力の育成につなげていきたい。					
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する		<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する		<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する	
<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する						
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり		

事業評価シート

事務事業名	家庭教育事業		担当課名	生涯学習課	
			課長名	中田 裕克	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		記入者	班	社会教育班
				職・氏名	班長 本間 忍
				電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)
事業の目的	心身ともに健やかな子どもを育むために、家庭教育に関する学習機会を提供する。				
事業の内容	① 就学時健診子育て講座 (南教育事務所 小笠原重夫氏 「小笠原流!子どもの伸ばし方ー「やる気」を引き出すコツー」) ② 親力アップ講演会 (大森山動物園長 小松 守氏 「動物の子育てに学ぶ」) ③ 幼児期家庭教育講座 (佐藤香純氏「親子deリミック」、小田原栄子氏「nicoちゃんの親子体操」、 鏡 志穂氏「なかよし親子ダンス」)				
事業の対象	① 就学時健診対象児の保護者 ② 小中学校PTA会員、認定こども園保護者会員 ③ 各こども園園児、保護者				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	予算
	514	149	328	168	334
評価年度目標 (目指すべき姿)	家庭や地域全体で子育てや教育を応援し支えていくための学習機会を提供する。 講座満足度80%以上				
実績・成果等 (数値)	① 満足度 98.1%、受講者数 107人(千畑 37人、六郷 38人、仙南 32人) ② 満足度 80.3%、受講者数 166人(千畑小学校会場60人、六郷小学校会場106人) ③ 満足度 92.7%、受講者数 397人(六郷わくわく園109人、仙南すこやか園206人、千畑なかよし園82人)				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分にできている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	A		優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	① 県の協力により、講演を聞きながら保護者同士が話せるグルーブトークを実施した。来年度以降も同様の取り組みを行い、家庭教育の資質向上につなげたい。 ② 各校PTAとの連携により、多くの方々から受講していただくことができた。六郷小学校では電子黒板と音響の不具合があり、満足度の低下となったと思われることから事前確認を徹底したい。 ③ 親子で体を動かし、触れ合う時間ができて楽しかったとの感想が多かった。事業を継続し、家庭教育においてゲーム・スマホなどに依存しない子育て環境の整備に努めたい。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	青少年教育事業		担当課名	生涯学習課	
			課長名	中田 裕克	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		記入者	班	社会教育班
				職・氏名	班長 本間 忍
				電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)
事業の目的	子どもたちの健やかな成長の一助となるよう、様々な体験活動や学習の場を提供する。				
事業の内容	① わくわくスクール ② コズミックカレッジ(JAXAプログラム) ③ 子どもコミュニケーション教室 ④ 地域学校協働本部事業の実施				
事業の対象	①、② 参加を希望する小学生(回によっては保護者参加可能) ③、④ 町内小中学校				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	2,323	1,320	1,993	1,291	755
評価年度目標 (目指すべき姿)	子どもたちの「生きる力」を育むため、子どもたちが意欲的に参加し、学年や男女問わず楽しく学習できるプログラムを提供する。 ①、②、③ 満足度80%以上 ④ 対前年比 +5%				
実績・成果等 (数値)	①・サマースクール(1回)満足度100%、参加者数20人(児童10人、保護者10人) ・ウインタースクール(1回) 満足度100%、参加者数18人(児童9人、保護者9人) ② 満足度94.1%、参加者数25人 ③ 5回(六郷小6年生、千畑小3年生、仙南小5・6年生、美郷中2年生) 満足度90.3%、参加者数269人 ④ 学校協働活動ボランティア 対前年比+3.4%(延べ 協力回数180回、協力者数248人)				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	A		優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	①直接体験の機会として実施しており、参加者アンケートの満足度が非常に高く、青少年教育事業として定着している。今後も子どもたちの学習意欲を高める様々な体験プログラムを提供したい。 ②宇宙に関する学習のほか、親子でのペットボトルロケット製作の体験活動を実施できた。未知なる体験活動を通して、子供たちの好奇心と探求心を高め、学習・体験意欲の向上につなげたい。 ③普段関わりの少ない人との関わりや、相手の気持ちを学ぶ機会を得るなど、目的を理解している児童が多く、満足度が高いため、事業を継続していきたい。 ④協力回数、人員ともに増えた。地域と学校の結び付きを深める事業でもあることから、みさぼーとと連携し、協力内容の拡充やボランティア参加者の増加につなげたい。				
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する		<input type="checkbox"/> 継続実施する		<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する
<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する					
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	成人教育事業	担当課名		生涯学習課
		課長名		中田 裕克
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出	記入者	班	社会教育班
			職・氏名	班長 本間 忍
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)

事業の目的	町民の余暇活動の充実を図り、いきいきと活力にあふれる地域社会を創るための学習講座を開催する。また、二十歳を機会に自らの成長過程を振り返りながら、成人としての自覚と誇りを喚起し、社会参加意識の高揚を図る。				
事業の内容	①生涯学習講座の開催 (1)【新】アウトドア講座(美郷町ネイチャーガイド) (2)【新】消しゴムハンコ講座(高橋祐子氏) (3)スマートフォン・SNS講座(TOMO氏) (4)おとなのペン字講座(福島樹理氏) ②二十歳の集いの開催(実行委員主体による) 式典、記念講演(ブラボー中谷氏)、記念映像の放映、記念撮影				
事業の対象	①生涯学習講座—受講を希望する方 ②二十歳の集い—平成14年4月2日から平成15年4月1日生まれで美郷町在住の方 (美郷中学校卒業生の転出者含む)				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	1,135	844	1,176	864	1,294

評価年度目標 (目指すべき姿)	①生涯学習講座講座 継続の講座に加え、新規講座で学びの機会を増やすことで余暇活動の一層の充実を図る。また、生涯学習講座の自主サークル化を図る。 目標値 生涯学習講座の満足度80%以上、自主サークル化 50%以上 ②二十歳の集い 実行委員会を発足し、企画運営に参画してもらうとともに、参加率を高める。 目標値 参加率80%以上			
実績・成果等 (数値)	①生涯学習講座 (1)満足度 100%、受講者数 10人 (2)満足度 88.9%、受講者数 11人 (3)満足度 55.5%、受講者数 12人 (4)満足度 93.3%、受講者数 24人 全体満足度 84.4% 自主サークル化 50% (対象講座：おとなのペン字講座) ②二十歳の集い 参加率 66.2% (対象者172名中114名参加)			

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	

内部評価	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている	
判定説明 及び考察	<p>①いずれの講座も、回を重ねるごとに、講師と受講生、受講生同士が打ち解け、よりよい講座になるよう協力し合う姿が見られた。おとなのペン字講座は、令和6年度より自主サークルとして活動することとなった。今後も講座の開設にあたっては、住民のニーズ等をとらえ取り組むことが必要と考える。</p> <p>②実行委員が主体となって実施され参加者の一体感が感じられる。コロナ禍明けでもあり参加率は目標値に至らなかったものの、式典・記念講演等を通じて成人としての自覚や意識を高めることができたので、来年度以降も実行委員と協力し参加率の向上に努めたい。</p>		
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する		
外部評価	B	評価委員意見	内部評価のとおり

事業評価シート

事務事業名	高齢者教育事業		担当課名	生涯学習課		
			課長名	中田 裕克		
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		記入者	班	社会教育班	
				職・氏名	班長 本間 忍	
				電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)	
事業の目的	心身ともに元気で生きがいをもって暮らせるよう、楽しく仲間づくりができる学習や交流の場を提供する。					
事業の内容	美郷いきいき大学の開催(年6回) ① 開講式、講演「防火・救急について」(美郷交番所長) ② ものづくり「牛乳パック小物入れ作り」(土田千佳子氏) ③ 町外研修「能代ロケット実験場」「能代エナジウムパーク」 ④ 講演「表情の力 再発見」(美表情塾主催 中川よしこ氏) 朗読劇「君と僕 違うからこそ 支え合う」(美郷町男女共同参画住民懇話会) ⑤ 県庁出前講座「がん予防・生活習慣病予防について」(大仙保健所 保健師) ⑥ 閉講式、アトラクション「じぇんこ漫談」(人星亭 まさるこ氏)					
事業の対象	60歳以上の町民で受講を希望する方					
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	
	408	62	408	69	272	
評価年度目標 (目指すべき姿)	高齢者が生きがいを持って継続して受講できるように、参加型の講演会や町外研修、創作活動等、魅力のあるプログラムを提供する。 目標値 参加者数対前年度+5%、満足度80%以上					
実績・成果等 (数値)	① 満足度 97.5%、受講者数 81人 ② 満足度 96.8%、受講者数 51人 ③ 満足度 95.7%、受講者数 44人 ④ 満足度 100%、受講者数 68人 ⑤ 満足度 85.5%、受講者数 69人 ⑥ 満足度 89.0%、受講者数 87人 満足度平均94.1%、受講者数 延べ400人					
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)						
<input type="checkbox"/> 達成できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	A		優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている			
判定説明 及び考察	感染症予防に細心の注意を払いつつ、「健康」、「ものづくり」、「朗読劇鑑賞」、「町外研修」を中心に事業を実施した。アンケート調査を分析すると満足度は全体的に高く、中でも健康に関する講座に関心が高かった。今後も、受講者の参加意欲を高める魅力的なプログラムを提供するとともに、新規受講者の確保に努めたい。					
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する		<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する		<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する	
<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する						
外部評価	A		評価委員意見		内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	芸術文化推進事業		担当課名	生涯学習課	
			課長名	中田裕克	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		記入者	班	社会教育班/歴史文化財班
				職・氏名	班長 本間忍/班長 山形博康
				電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)/0187-84-4040 (3401)
事業の目的	住民の豊かな心を養い、芸術・文化に触れる機会を創出する。				
事業の内容	優れた芸術・文化に触れる機会を提供し、個々の個性と想像力を育む。 (1) 音楽コンサート(自衛隊音楽隊、ジャズコンサート) (2) 学友館特別展				
事業の対象	町内外の観覧を希望する方				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	9,010	8,236	9,073	7,956	12,031
評価年度目標 (目指すべき姿)	住民が芸術文化に触れる機会を創出し、豊かな心を養う。 (1) 満足度80%以上 (2) 入館者数各展800人以上(2,400人以上)、満足度80%以上				
実績・成果等 (数値)	(1) 音楽コンサート 於:美郷町公民館 ①美郷ジャズオーケストラスペシャルコンサート (10月21日、美郷フェスタ内、入場者約300人) ②陸上自衛隊第9音楽隊コンサート (11月12日、入場者数397人、満足度96.9%) (2) 学友館特別展 於:美郷町学友館 ①鈴木空如の画業を支えた人々～坂本東嶽・佐藤維山～ 入館者数834人 (4月22日～5月28日、入館者数834人、満足度99.4%) (関連行事としてギャラリートーク開催、54人参加) ②展示で巡る須藤玲子の布づくり NUNO の世界へポップ・ステップ・ジャンプ! (10月28日～12月3日、入館者数1,081人、満足度99.4%) (関連行事としてギャラリートーク2回実施98人、つぎつぎ布ワークショップ20人) ③秋田県美術展覧会第21回仙北地域展 (令和6年1月13日～2月18日、入館者数1,002人、満足度100.00%)				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	A	優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている			
判定説明 及び考察	(1)ジャズコンサート、自衛隊音楽隊コンサートとも多数の入場者があった。特に自衛隊音楽隊コンサートの人気は高く、応募者数は募集定員の約2倍であり、高い満足度となっている。 (2)来館者の満足度向上を図るために実施した関連行事や作品解説は、大変好評をいただき高い満足度となっていることから今後も継続していきたい。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する		
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり		

事業評価シート

事務事業名	芸術文化交流促進事業	担当課名		生涯学習課	
		課長名		中田 裕克	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出	記入者	班	社会教育班	
			職・氏名	班長 本間 忍	
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)	
事業の目的	友好都市交流自治体の人や作品などの交流を通して町芸術文化活動の活性化を図り、地域住民の芸術文化理解、及び相互交流を深めることを目的とする。				
事業の内容	友好都市における生涯学習団体、各種サークル間の活動紹介や情報発信、作品の交換展示。				
事業の対象	交流を通じて活動強化を図りたい町内サークル・団体の会員等				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	329	77	478	0	154
評価年度目標 (目指すべき姿)	芸術文化団体・自主学習サークル等の活動紹介や情報発信、他自治体との交流を促進する。 目標値: 作品の交換展示、人的交流の実施				
実績・成果等 (数値)	大田区の麦わら細工サークルの作品展示を目指し、大田区立郷土博物館の学芸員と意見交換を行った。				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い			
判定説明 及び考察	大田区生涯学習団体との交流については、令和4年度に行った大田区との打合せの結果、調整が難しいと判断され、事業見直しが必要な状況であった。今後は、自主学習サークルによる他自治体との交流の一環として大田区の麦わら細工サークルの作品展示の可能性を探っていきたい。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 継続実施する <input checked="" type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	—	評価委員意見	相手方との調整が進まず、いまだ具体的交流の実施や改善見直しに至っていないことから、現時点での評価は行わない。		

事業評価シート

事務事業名	芸術文化団体支援事業	担当課名		生涯学習課
		課長名		中田 裕克
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出	記入者	班	社会教育班
			職・氏名	班長 本間 忍
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4105)

事業の目的	芸術文化団体の活動を支援する。				
事業の内容	美郷町芸術文化協会やかけ唄保存会などの芸術文化団体の事業に対して補助を行う。				
事業の対象	芸術文化団体				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	372	343	372	372	372

評価年度目標 (目指すべき姿)	団体の事業に対して補助金を交付することで、団体の活動が活発化する。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 美郷町芸術文化協会補助金 300,000円 補助金を活用し、芸能発表会の実施、芸術文化賞の選考・授与、会報の発行・配布、会員研修などを行った。 かけ唄保存会補助金 72,000円 補助金を活用し、熊野神社で全県かけ唄大会が開催された。 				

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分にできている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない
判定説明 及び考察	<p>町芸術文化協会への助成を通して加入団体の活動が活発化し、会員相互の交流が図られた。また、芸能発表会の実施、会報「芸文協だより」の発行や芸術文化賞の選考・授与等により、町民の芸術文化への関心や活動意欲も高まった。</p> <p>かけ唄保存会については、全県かけ唄大会を開催し、伝統芸能の保存につながっている。今後も、芸術文化団体のさらなる活性化のため、支援を継続していきたい。</p>		
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する		

外部評価	B	評価委員意見	内部評価のとおり
------	---	--------	----------

事業評価シート

事務事業名	学習成果発表事業		担当課名	生涯学習課	
			課長名	中田 裕克	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		記入者	班	社会教育班
				職・氏名	班長 本間 忍
				電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)
事業の目的	学習成果を発表する機会を提供することで、会員の学習意欲向上を図る。				
事業の内容	美郷フェスタ文化展				
事業の対象	町の生涯学習講座受講者、サークルや団体の会員等で出品を希望する方				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	47	7	47	5	-
評価年度目標 (目指すべき姿)	生涯学習講座の受講生やサークル・団体の会員等で出品を希望する方にも美郷フェスタへの出展を促し、学習意欲を喚起する。 目標値 美郷フェスタ文化展出展者数 250人以上				
実績・成果等 (数値)	美郷フェスタ文化展(令和5年度出展者数 135人、約400点)				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている			
判定説明 及び考察	新型コロナウイルス感染症による行動制限以降、文化展への出展者が減っていることに加え、高齢化によるサークル・団体の活動縮小の影響を受け、出展団体自体が減少しており、目標達成に至らなかった。しかし、貴重な作品展示の場で、サークル・団体の活性化や会員の学習意欲向上のため必要であることから、文化展の実施は継続していきたい。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する		
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	B	評価委員意見	内部評価のとおり		

事業評価シート

事務事業名	美郷カレッジ開催事業		担当課名	生涯学習課	
			課長名	中田 裕克	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		記入者	班	社会教育班
				職・氏名	班長 本間 忍
				電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)
事業の目的	美郷町内外の方が、創造的で充実した人生を送り、地域づくりや地域文化の創造に主体的に参加していただくための学習機会を提供する。				
事業の内容	美郷カレッジの開催(6月24日から12月16日まで 計5講座)				
事業の対象	町内外で受講を希望する方				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	909	569	1,060	900	1,369
評価年度目標 (目指すべき姿)	地域づくりや地域文化創造に寄与する人づくりのため、魅力ある学習機会を提供する。 目標値 講座満足度80%以上、受講者数240人以上				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・「香りが受け継がれてきた理由～香史を紐解く～」中田邦子氏 (6月24日開催、受講者52人、満足度95.5%) ・「受け継がれた知識と技術をフィルムに刻み、繋ぐ "Capturing inherited craft knowledge on film"」マーティ・グロス氏(7月9日開催、受講者62人、満足度96.2%) ・「経済安全保障の車載電池におけるグローバル競争と日本のたち位置」佐藤 登氏 (9月2日開催、受講者53人、満足度98.0%) ・「美郷・秋田と世界をつなぐもうけ方」細井 長氏 (9月30日開催、受講者数104人、満足度100%) ・「プロバイオテック革命:健康長寿を支える『(ポスト)イムノバイオテックス』の魅力」 北澤春樹氏(12月16日開催、受講者47人、満足度100%) 満足度平均 97.9%、受講者数318人				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	A		優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	「継(けい・つぐ)」を共通テーマとして5講座を開催した。身近な分野から専門的事項まで、各界の第一線で活躍する幅広い講師陣を招聘することにより、受講者の知的好奇心が掻き立てられていることがアンケート結果やリピーターの多さから読み取れる。 また、リモート会場(中央ふれあい館、北ふれあい館)も設置し、受講者の利便性にも配慮した。全体の満足度、継続受講希望者も95%を超えており、事業への期待は非常に高いものと考えられることから、講座内容の充実を図りながら事業を継続していきたい。				
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する		<input type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する	
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	伝統行事等伝承事業		担当課名	生涯学習課	
			課長名	中田 裕克	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		記入者	班	歴史文化財班
				職・氏名	主査 畠山 圭枝子
				電話番号(内線)	0187-84-4040(3405)
事業の目的	伝統行事を地域で継承することで、地域活動の活性化を図る。				
事業の内容	(1) 六郷の七夕まつり(舟ッコ流し)の開催 (2) 六郷のカマクラ行事継承会への補助				
事業の対象	(1) 六郷地区各町内会(子ども会) (2) 六郷のカマクラ行事継承会				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	1,628	1,643	1,956	1,768	2,016
評価年度目標 (目指すべき姿)	郷土の誇りである伝統行事が地域で継承され、その活動を通じて地域活動が活性化する。				
実績・成果等 (数値)	(1) 8月5日から6日にかけて六郷地区18町内中14町内の子ども会で実施予定であったが、6日朝から天気が不安定で落雷や集中豪雨などが発生したことから、安全面を考慮し中止した。 (2) カマクラ行事を保存・継承・運営団体である六郷のカマクラ行事継承会に対して、実施に係る費用の一部として団体に補助金(110万円)を交付した。2月13日から17日にかけて六郷町内でカマクラ行事が開催され、竹うちは雪不足のため中止した。				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input type="checkbox"/> 達成できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない
判定説明 及び考察	<p>B 優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている</p> <p>(1) 少子化の影響で行事に参加できない(実施できない)町内子ども会があり、伝統行事の継続が難しくなっているため、地域全体への呼びかけが必要と考える。 (2) カマクラ行事継承会により、一部行事を除き、一連の行事を実施することができた。令和5年度より、各町内の担い手不足を解消するため、天筆焼き、竹うち行事を土曜日開催とするなど変更を行った。今後も各町内の意見を踏まえながら、時代の変化に合わせてつ、伝統が継承されるよう支援していきたい。</p>				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	B		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	後三年合戦関連事業		担当課名	生涯学習課	
			課長名	中田 裕克	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		記入者	班	歴史文化財班
				職・氏名	主任 畠山昂大
				電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)
事業の目的	平泉の世界遺産登録を契機として、後三年合戦の啓発を行い、地域の歴史研究の進展を図る。				
事業の内容	後三年合戦みさとプロジェクト実行委員会への支援				
事業の対象	後三年合戦みさとプロジェクト実行委員会				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	40	40	40	15	40
評価年度目標 (目指すべき姿)	後三年合戦を学ぶことにより、郷土の歴史の理解と郷土愛の醸成を図る。				
実績・成果等 (数値)	事業費の一部として、団体に補助金(1.5万円)を交付した。 (事業等実施状況) 令和5年度末 会員数40人(前年度より▲4人) 7月1日 総会及び講演会(参加者数 29人) 11月10日 岩手県立博物館等県外視察研修(参加者数 21人) 12月24日 後三年合戦金沢柵公開講座(参加者数15人)				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている			
判定説明 及び考察	実行委員会が主体となって事業を実施しており、地域の方々が自ら郷土の歴史を学んでいる。後三年合戦関連遺跡や施設を見学したことで、後三年合戦に対する理解や興味が深まった。郷土愛の醸成につながっており、引き続き支援が必要である。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	B	評価委員意見	内部評価のとおり		

事業評価シート

事務事業名	わら細工文化事業		担当課名	生涯学習課	
			課長名	中田 裕克	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		記入者	班	歴史文化財班
				職・氏名	班長 山形博康
				電話番号(内線)	0187-84-4040(3401)
事業の目的	地域の伝統文化である「わら細工」の保存と伝承を図る。				
事業の内容	わらの文化交流事業の開催				
事業の対象	町内外の参加を希望する方				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	811	549	784	474	734
評価年度目標 (目指すべき姿)	失われつつあるわら文化の保存と継承を目的に「わらの文化交流事業」を開催し、多くの方にわら文化の大切さを再認識してもらう。				
実績・成果等 (数値)	3月2日に屋内スポーツ館において、第6回「わらの文化」交流の集いを開催し、町内外から118人の参加があった。千葉大学名誉教授宮崎清氏によるわら文化に関する基調講演や、大田区立郷土博物館学芸員による事例発表および麦わら張り細工体験を実施した。 参加者アンケートによる満足度は72.4%であった。				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	A	優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている			
判定説明 及び考察	わら文化を次世代に繋いでいく意識を高めることができた。また、SDGs意識や若い世代の関心の高さをうかがい知ることができた。美郷の手仕事として、伝統を引き継いでいく必要がある。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり		

事業評価シート

事務事業名	ブックスタート事業	担当課名	生涯学習課
		課長名	中田 裕克
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成	記入者	班
			職・氏名
			電話番号(内線)
			歴史文化財班 主査 畠山圭枝子 0187-84-4040(3405)

事業の目的	乳児と保護者が絵本を介してふれあうきっかけを作り、行政や地域が支えながら健やかに子育てできる環境を提供する。				
事業の内容	美郷町内に住民登録している7ヵ月児、10ヵ月児の乳児および保護者に絵本を手渡し、家庭での読みきかせや絵本遊びを推進する。				
事業の対象	美郷町に住民登録している7ヵ月児、10ヵ月児の乳児とその保護者				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	424	265	404	283	312

評価年度目標 (目指すべき姿)	7ヵ月児、10ヵ月児とその保護者に絵本を贈ることで、親子で本に親しむことをきっかけとして、触れ合い、語り合うことで、親子のきずなを一層深める。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 毎月行われる乳幼児健診の際に贈呈した。 7ヵ月児61人(ブックスタートパック)、10ヵ月児64人(選択絵本2冊) 民生委員、読み聞かせボランティアと共同で行い、町の子育て支援に関する情報提供も行った。 				

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	

内部評価	A	優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている
------	---	------------------------

判定説明 及び考察	保護者と個別に対話しながら絵本を贈呈し、ブックスタートの意義を理解していただいた。受け取ったその場で絵本遊びを始めるなど保護者からも好評を得ており、絵本をきっかけとした親子のふれあい創出や読書推進に寄与している。また、保護者同士がつながる場にもなっており、子育て支援の一助となるよう、関係者の協力を得ながら事業を継続していきたい。	
--------------	---	--

事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する		

外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり
------	---	--------	----------

事業評価シート

事務事業名	美郷オリジナル絵本作成事業	担当課名		生涯学習課	
		課長名		中田 裕克	
総合計画の 施策名	次代を担う子どもの育成	記入者	班	歴史文化財班	
			職・氏名	主任 畠山昂大	
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)	
事業の目的	郷土愛の醸成と情操教育を目的に、オリジナル絵本を作成する。				
事業の内容	美郷町を舞台にした絵本の作成(令和5年度刊行)				
事業の対象	町内在住の3～7歳児				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	1,821	1,201	3,340	3,064	-
評価年度目標 (目指すべき姿)	美郷町オリジナル絵本「ミサトとセッカのだいぼうけん」の刊行				
実績・成果等 (数値)	令和3年度に完成したストーリーを基に、絵本作家で美郷大使の永田萌氏に挿絵の作成を継続委託し、令和6年3月に刊行した。				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	A	優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている			
判定説明 及び考察	町内認定こども園の園児や小学校1年生等に完成した絵本を配布した。オリジナル絵本は、ボランティア団体等による読み聞かせや学校教材としての活用を行うなど、環境教育の一つとして、絵本の世界に触れ合う機会を設けていきたい。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり		

事業評価シート

事務事業名	読書・視聴覚環境向上事業		担当課名		生涯学習課
			課長名		中田 裕克
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		記入者	班	歴史文化財班
				職・氏名	主査 畠山圭枝子
				電話番号(内線)	0187-84-4040(3405)
事業の目的	活字離れや読書離れが問題となっていることから、読書への興味を喚起し、「読む・考える・表現する」ための習慣づけの一助とする。				
事業の内容	(1) 読書・図書館に関連したイベント等の開催 (2) 図書館内に視聴覚ブースの設置				
事業の対象	(1) 参加を希望する方 (2) 図書館利用者				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	2,951	3,017	734	631	477
評価年度目標 (目指すべき姿)	(1) 美郷町読書フェスタ等関連事業を実施し、幅広い層に読書への関心を喚起するとともに本に親しんでもらう。 (2) 視聴覚ブースの活用				
実績・成果等 (数値)	(1) 関連事業の実施 ・7月29日 手づくりしかけ絵本教室(参加者16人、満足度98.5%) ・10月1日 美郷町読書フェスタ(参加者数延べ175人、満足度91.3%) ・10月3～9日 「心に残った本」紹介コンクール(応募数920点) (2) 視聴覚ブース ・旧町村PR映像や映画、クラシック音楽など191点を視聴可能。 ・令和5年度末利用者数 合計36人				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	A		優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	(1) 町民同士の交流もでき、本に親しみを持ってもらうことができた。今後も読書習慣につながる事業の開催と、魅力ある図書館の環境整備を行う必要がある。 (2) 利用者増加のためのPRと、視聴覚できる映像資料等の充実を図っていく必要がある。				
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する		<input type="checkbox"/> 継続実施する		<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	文化財保護事業		担当課名		生涯学習課
			課長名		中田 裕克
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		記入者	班	歴史文化財班
				職・氏名	主任 島山昂大
				電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)
事業の目的	町内の史跡等重要なものについて、その保存及び活用のため必要な措置を講じ、郷土の歴史や文化について学ぶ場所を提供する。				
事業の内容	町内史跡等の維持管理、文化財等保存修復処理、文化財保護に関する啓発。				
事業の対象	指定文化財、収蔵施設				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	4,123	5,542	3,886	3,318	5,090
評価年度目標 (目指すべき姿)	町指定文化財の管理や歴史資料の修復等を行い、町の歴史について学習できる環境を整備する。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 文化財等保存修復処理 秋田県指定有形文化財 明和四年本堂城廻村絵図1幅(表装替え等) 指定文化財の施設設備管理 国・県・町指定文化財の管理、草刈り等 関田円型分水工の国登録有形文化財申請に向けた調査の実施 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input type="checkbox"/> 十分できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input type="checkbox"/> 達成できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	B		優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	<ul style="list-style-type: none"> 町収蔵資料の適正管理により、展示公開をとおして次世代に伝えていくことができるようになった。今後も収蔵資料の修復等を計画的に進めていく必要がある。 史跡等を適正に管理したことにより良好な学習環境が保たれ、郷土の歴史や文化に対する理解、文化財保護意識が醸成されている。今後も文化財や史跡等を適正に管理していく必要がある。 				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	B		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	埋蔵文化財調査事業		担当課名	生涯学習課	
			課長名	中田 裕克	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		記入者	班	歴史文化財班
				職・氏名	主任 畠山昂大
				電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)
事業の目的	町内に所在する遺跡を良好な状態で後世に残し、発掘調査によって得られた遺跡情報や出土した遺物を町民の学習の場に活用する。				
事業の内容	後三年合戦関連遺跡およびほ場整備事業実施に伴う試掘調査				
事業の対象	長岡森館、明田地野際地区ほ場整備事業				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	1,688	1,605	2,606	2,339	2,724
評価年度目標 (目指すべき姿)	後三年合戦関連遺跡の調査実施による遺跡の年代観確定およびほ場整備事業実施に伴う試掘調査による町内埋蔵文化財の保護				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・10月から11月にかけて調査を実施した。 ・長岡森館は、空堀跡を確認した。11月11日に現地見学会を開催し35名が参加した。 ・明田地野際は、試掘の結果、遺構や遺物は発見されなかった。 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	B		優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	文化財保護法に基づき実施しており、引き続き、適切に調査する必要がある。また、調査の内容については、歴史民俗資料館で展示公開を行い、史資料の充実を図っていきたい。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する		<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する	<input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する	
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	B		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	民俗文化財継承活動推進事業	担当課名		生涯学習課	
		課長名		中田 裕克	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出	記入者	班	歴史文化財班	
			職・氏名	主任 畠山昂大	
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)	
事業の目的	町内の指定民俗文化財となっている「六郷のカマクラ」(国指定)及び「わら細工及び製作道具」(県・町指定)に関連するわら文化の記録映像を作成し、伝統文化の安定した継承を図る。				
事業の内容	「六郷のカマクラ」及び「わら文化(わら細工・ショウキ様)」の歴史や活動、準備や祭りなど、作法含め記録映像を制作する。(1作品10分程度、令和7年度完成予定)				
事業の対象	町民、六郷のカマクラ行事継承会、美郷わらの会、本堂城跡管理組合				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	930	847	941	887	1,035
評価年度目標 (目指すべき姿)	「六郷のカマクラ行事」及び「わら文化」の行事や伝承活動取材し、映像撮影する。				
実績・成果等 (数値)	「カマクラ行事」について、行事实施に向けた打合せ、町内の準備(天筆書き)、行事(天筆掲揚、松ニオなど)取材し、映像撮影した。 「わら文化」について、6月に本堂城回館間集落及び歴史民俗資料館のショウキ様造り替えや美郷わらの会の活動取材し、映像撮影した。				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	A		優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	人口減少や少子高齢化、地域のつながりの希薄化、祭りへの参加者減少等により、行事の継承が難しくなっているため、保存継承を目的に準備から一連の行事そのものを映像記録として残す重要性はますます高まっている。今後、映像記録を活用した公開・普及活動を円滑に行うため、映像の完成に向けて引き続き取り組む必要がある。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	少年スポーツ振興事業		担当課名	生涯学習課	
			課長名	中田裕克	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出		記入者	班	スポーツ振興班
				職・氏名	班長 梅川茂男
				電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)
事業の目的	スポーツ少年団の活動を通して、団員の健全育成と単位団の育成を図る。また、駅伝大会を通して、中学生の健全な精神と体力の向上を図る。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団の運営、20単位団への育成費の助成 ・県大会以上の出場チーム等に対し派遣費の助成 ・中学校新人駅伝競走大会の開催 				
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団及び団員 ・美郷中学校生徒 				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	2,445	2,095	2,763	2,647	2,619
評価年度目標 (目指すべき姿)	スポーツ少年団の活動を支援し、スポーツを楽しみながら多様な価値観を認め合う機会を与え、青少年の健全育成を推進する。また、中学生の心身の健やかな成長を期し、駅伝大会を開催する。				
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団 20団体 342人が団員登録 ・選手派遣費補助 7団体 13大会へ補助 ・10月24日に男子15校、女子14校が参加し、「第19回美郷町中学校新人駅伝競走大会並びに第16回美郷町中学校新人女子駅伝競走大会」を開催。美郷中学校は男女ともに優勝の好成績を収めた。 				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない			
内部評価	A		優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	スポーツ少年団の活動は保護者の協力体制の充実により活発に行われ、活躍も目覚しく各種大会で好成績を収めており、子どもたちの心身の向上や社会性を育む一助となっていると考えられる。駅伝大会も「走る美郷」の基礎となる事業である。今後も、スポーツを楽しむという概念をもって引き続き青少年の健全育成を推進していく必要があると考える。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	スポーツ活動支援事業	担当課名	生涯学習課
		課長名	中田裕克
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出	記入者	班
			職・氏名
			電話番号(内線)
			0187-84-4916(4301)

事業の目的	スポーツに関する情報や機会を提供し、継続的な生涯スポーツの推進を図る。また、各種スポーツ大会を通して交流機会を創出し、コミュニティの醸成と運動意識の向上を図る。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ教室、ウォーキング教室、水泳教室、スキー教室の開催 ・各種町民スポーツ大会、ニュースポーツ大会、チャレンジデーの開催 ・町スポーツ協会の運営、育成費の助成 				
事業の対象	町民及び町スポーツ協会並びに加盟スポーツ団体				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	4,126	4,214	3,991	3,773	3,949

評価年度目標 (目指すべき姿)	生涯スポーツ振興のためにスポーツ協会の運営を支援し、加盟スポーツ団体の組織力強化に努める。また、スポーツ協会及び加盟団体によるスポーツ教室や各種大会の開催を促進し、町民の健康増進を図る。
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・町スポーツ賞の授与とスポーツ協会を通して、18の加盟団体に育成費の助成を行った。 ・14競技の町民スポーツ大会を開催し、1,736名が参加した。 ・ウォーキング教室を開催し、屋外19回(345人)、屋内44回(365人)、延べ710人が参加した。 ・スポーツ教室(卓球、バドミントン、ユニカール等)を開催し、44回、延べ726人が参加した。 ・水泳教室を開催し、4回 小学生1年～3年生26人が参加した。 ※スキー教室は、雪不足のため中止

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	

内部評価	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている
------	----------	--------------------------

判定説明 及び考察	町スポーツ賞は、町民がスポーツに励む一つのきっかけともなるため、継続する必要がある。スポーツ協会加盟団体は、会員の高齢化傾向も見受けられるが、多くの町民がスポーツに参加できる環境づくりに努めており、今後も町スポーツ協会に支援することにより、生涯スポーツの浸透を図っていく必要がある。
--------------	---

事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
------------	---

外部評価	B	評価委員意見	内部評価のとおり
------	----------	--------	----------

事業評価シート

事務事業名	連携企業スポーツ活動推進事業	担当課名		生涯学習課	
		課長名		中田裕克	
総合計画の 施策名	心を豊かにする生涯学習の創出	記入者	班	スポーツ振興班	
			職・氏名	班長 梅川茂男	
			電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)	
事業の目的	ヨネックスと連携し、スポーツ教室による競技力の向上と生涯スポーツへの取組を推進する。また、モンベルと連携し、登山教室による美郷中学生への情操教育に寄与する。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 一流のアスリートによるスポーツ教室の開催 美郷中学生への登山教室の開催 				
事業の対象	町民				
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算
	1,103	655	1,368	510	1,087
評価年度目標 (目指すべき姿)	個々の体力やライフスタイルなどに応じてスポーツに取り組む習慣を身につけるため、様々なスポーツ種目に親しめる機会を創出する。				
実績・成果等 (数値)	<p>【ヨネックス連携事業】</p> <p>・7月8日に元ヨネックス女子チーム監督の梅野尾晶一氏、ヨネックスアドバイザースタッフの梅野尾悦子氏を講師に迎え、美郷町総合体育館リオスを会場に、親子バドミントン教室・中学生バドミントンクリニックを開催。中学校バドミントン部37人、町バドミントンスポーツ少年団51人、町民等75人が参加。</p> <p>・8月5日に同社社員でソフトテニスの国内大会で活躍している貝瀬ほのか氏を講師に迎え、美郷中学校テニスコートを会場にソフトテニス教室を開催。美郷中学校の男女ソフトテニス部28人と町民等35人が参加。</p> <p>【モンベル連携事業】</p> <p>・9月10日、参加を希望した美郷中学生10人を対象に、モンベルと美郷山岳会の協力を得て登山の基礎や必要な道具など、本番に向けた登山講座を開催。なお、10月13日に予定していた真昼山実地登山は、熊目撃情報の多発により、安全面を考慮し中止とした。</p>				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である		<input type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input type="checkbox"/> 達成できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input type="checkbox"/> 達成できていない	
内部評価	A		優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	スポーツ教室では一流アスリートの直接指導により競技者の技術習得や士気の高揚につながった。登山教室では安全面を考慮し中止となったが、講習会により登山に魅力を感じた中学生も多く、美郷町の大自然のなか、忍耐や協力、達成感や充実感を感じることでできる貴重な事業と考える。今後も連携企業の協力を得て、スポーツの魅力発信と競技力向上を図る機会を創出していく必要がある。				
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施する <input type="checkbox"/> 改善見直しを検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	国際文化スポーツ交流促進事業		担当課名	生涯学習課		
			課長名	中田裕克		
総合計画の 施策名	つながりが生まれる交流の創出		記入者	班	スポーツ振興班	
				職・氏名	班長 梅川茂男	
				電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)	
事業の目的	タイバドミントンナショナルチームとの交流や文化講座の開催によって相互交流を促進する。					
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・タイバドミントン選手と町民や小中学生との交流 ・タイ文化講座の開催 					
事業の対象	町民					
事業費 (千円)	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	
	5,263	695	2,009	464	-	
評価年度目標 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイバドミントン選手と町民や小中学生との交流の拡大 ・タイ王国との国際交流の機会の拡大 					
実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内で行われる国際大会の機会を利用してのタイバドミントンナショナルチームとの交流事業を計画していたが、チームとの日程調整がつかず中止となった。 ・JAL特別協力により、美郷中学生のタイ訪問にあわせた文化講座の開催を予定していたが、講師の調整がつかず中止とした。 					
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分必要である		<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である		<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する		<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)					
<input type="checkbox"/> 十分できている		<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている		<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)						
<input type="checkbox"/> 達成できている		<input type="checkbox"/> おおむね達成できている		<input checked="" type="checkbox"/> 達成できていない		
内部評価	D		成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要			
判定説明 及び考察	<p>東京オリンピックを契機に始まったタイバドミントンチームとの交流であったが、ナショナルチームやトップクラスの選手との交流はオリンピック開催地が重要視されることから、継続的な交流は非常に厳しいと考える。今後は、スポーツ交流よりもタイ王国との文化・教育・経済の交流に重点を置いた事業展開が必要と考える。</p> <p>また、これまで、JALの特別協力により無償で講師派遣していただいたタイ文化講座であったが、令和5年度より費用負担が発生したため、講師との折りがつかず中止となった。費用対効果を意識した内容での事業実施が必要と考える。</p> <p>なお、令和6年度は中学生交流に重点を置くため、等事業では予算措置していないが、今後は教育交流と連携した事業展開を図っていきたい。</p>					
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する		<input type="checkbox"/> 継続実施する		<input checked="" type="checkbox"/> 改善見直しを検討する	
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する					
外部評価	—		評価委員意見	東京オリンピック後も続いたコロナ禍という外的要因で事業実施に至らないと判断されることから、評価は行わない。		